

しじゅうから

福島市小鳥の森通信 2011年3月号 No.310



3月の自然予報

アカガエルの産卵

アカガエルは産卵のために2月下旬から3月中旬にかけ冬眠から一度目覚めます。産卵のタイミングが早いと寒さで卵が凍ってしまい、遅いとヒキガエルなどとの生存競争が激しくなるようです。産卵が終わったあとは再び眠りにつき、4月ごろにはまた見られるようになります。2010年の初確認は3月2日。今年はいつになるのでしょうか？

アカガエルの卵塊
小鳥の森の田んぼで
見つかります。

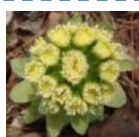


小鳥の森でアカガエルの産卵が始まるのは啓蟄（けいちつ）のころです。

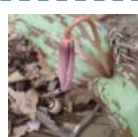
春の花が咲き始めます！

2010年開花状況

確認日	種名	状態
3月2日	イチヨウウキコケ	確認
3月3日	ウグイス	初認
3月3日	ウグイスカグラ	開花
3月9日	カタクリ	花芽
3月20日	キクザキイチゲ	開花
3月22日	マキノスミレ	開花
3月26日	ジュンラン	開花
3月26日	タチツボスミレ	開花
3月26日	ヒメカンسゲ	開花
3月28日	ショウジョウバカマ	開花
3月30日	センボンヤリ	開花



フキ



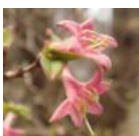
カタクリ（つぼみ）



キクザキイチゲ



ジュンラン



ウグイスカグラ



マキノスミレ

3月の野鳥

中旬を過ぎるとウグイスなど野鳥のさえずりが盛んに聞こえてくるようになります。

ヤマガラやシジュウカラはコケなどの巣材料を運ぶ様子が観察できるようになります。下旬には小鳥の森最初の夏鳥、ツバメも観察できるようになります。春はもうすぐです。



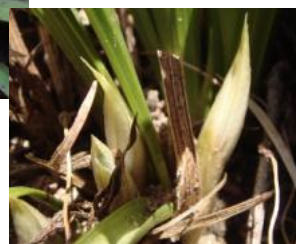
2月の自然

春の準備

ウグイスカグラの花芽が膨らんでいます。花が咲くまでもう少し。木々の新芽も膨らんできました。日当たりのよい場所では、ヒメオドリコソウやハコベなどが早くも花を咲かせました。ショウジョウバカマやジュンランのつぼみも確認できましたが、こちらはまだまだ固いつぼみです。寒さに耐えながら暖かな春の日を待っています。



←ショウジョウバカマの蕾



ジュンランのの蕾→

2月の野鳥

アトリは昨年に続き2年連続で、イカルは3年ぶりに給餌場にきました。カワセミの小径ではベニマシコ、カヤクグリ、ウソ、クロジも確認。冬鳥たちで小鳥の森はにぎわっています。

シロハラ

例年リンゴを食べに給餌場へ来ますが、今年はなぜかヒマワリの種がある餌台へ来ていました。そしてイライラしたように餌台の種を次々に落としていました。

自分で種を割ることができないため他の鳥の食べ残しを探していたようです。迷惑なシロハラの行動に他の鳥たちは餌台に近づくことができ無かったようです。



シロハラ

今シーズン冬鳥飛来情報

初確認月	種名	初確認月	種名
2010年10月	ショウビタキ	2010年11月	トラツグミ
2010年10月	ピンズイ	2010年12月	ミソサザイ
2010年10月	ヒガラ	2011年1月	ミヤマホオジロ
2010年11月	ルリビタキ	2011年1月	ベニマシコ
2010年11月	シメ	2011年2月	イカル
2010年11月	マヒワ	2011年2月	アトリ
2010年11月	ツグミ	2011年2月	クロジ
2010年11月	キクイタダキ		

キタテハ

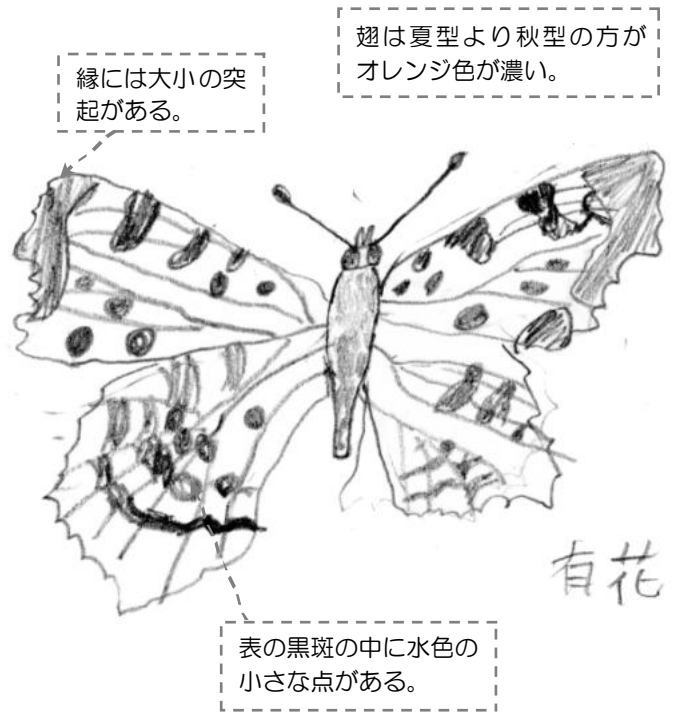
大きさ：50～60mm

生態：夏はコナラなどの樹液、秋はキク科の花や柿などの腐敗した実に集まります。早春から夏にかけて発生する夏型と秋に出現してそのまま冬を越す秋型があります。幼虫はカナムグラの葉を食べて育ちます。

特徴：翅の表は黄色に黒い紋があり、裏は褐色で枯れ葉や落ち葉に似せた保護色となっています。

小鳥の森での観察：

冬でも枯れ葉や枝で越冬している個体を見つけることがあります。3月上旬、暖かな日に飛び回る姿が観察できます。



イラストはたかはしゆかちゃんが描いてくれました。

今月は高橋レンジャーです。

マンサク（満作）

春いちばんに「先ず咲く」ところからこの名がついたといわれています。これと「豊年万年」をかけ、縁起をかつぎ「満作」と書きます。マンサク科の落葉小高木で、残雪が残っているうちにあざやかな黄色の花を咲かせます。

マンサクを利用した建築物で有名なのが岐阜県白川郷の合掌造り家屋で、結束素材として若いマンサクの木を利用しているそうです。乾燥や湿気の変化に強く約200年はもつと言われていいます。豪雪地帯の建築物には無くてはならない樹木の一つになっているようです。

小鳥の森ではマンサクをほとんど見かけることがありません。この辺ではマンサクの木を「シバリキ」とも呼んでいて柴木、薪などを束ねるために利用しました。

ここはもともと共有林で、里山として利用してきた人々がマンサクを利用したためではないかと推定しています。

マンサクの花が咲く頃にはつぎつぎと早春の植物の可憐な花が咲き始めます。



※小鳥の森のイベント情報は小鳥の森ホームページ、福島市政だよりでご覧なれます。

福島市小鳥の森（ネイチャーセンター） 開館時間：午前8時30分～午後5時
《入場無料》 休館日：毎週月曜日（祝祭日の時はその翌日）

〒960-8202 福島市山口市宮脇 98 Tel：024-531-8411 fax：024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.wbsj.org/sanctuary/fukusima/>

小鳥の森通信「しじゅうから」2011年3月号№310/企画・発行：福島市小鳥の森 / (財) 日本野鳥の会・サンクチュアリ室